



(題字 吉岡名誉顧問)

育 成 会 だ よ り

第 1 1 0 号 令和 7 年 7 月 発行

東大阪市手をつなぐ育成会
(年 3 回)

総会を終えて

5月27日(火)、令和7年度総会を開催しました。

東大阪市長、東大阪市手をつなぐ育成会新・前会長、大阪手をつなぐ育成会理事長のご挨拶を
抜粋して紹介します。

ご 祝 辞

東大阪市長
野田 義和

東大阪市手をつなぐ育成会の日頃のご尽力に感謝しています。

どんな会合に行っても 高齢化、次の世代の入会のないジレンマがあるようです。このような中、日々ご尽力いただいていることに感謝しています。(育成会も高齢化、コロナの影響、体調不良等で 出席者が少なくなったことを懸念していることを市長さんに坂本さんが話されたことに対してのお言葉です)

障がいのある人が もっともっと幸せに あたりまえに生活していけるように 改めて考えなくてはなりません。

社会が変わってきています。今は、スマホ・インターネットの社会で、スマホがなくても同じように生活していけるよう 何を どのように考えていけばいいか、考えていかななくてはなりません。我々の考えが及んでいないのではないかと 反省しています。

新しい支援学校の建設を考えています。一方、 教育現場では共に学んでいこうと進められてきました。一緒に行動することで、人のいたみがわかり、やさしくすることが、当然のことのようにつながってきています。

このことを通して、これからどうあるべきか、完全参加について考えていかなければなりません。

まず、東大阪市から。

ごあいさつ

東大阪市手をつなぐ育成会
前会長 坂本 ヒロ子

現在、全国の大阪の育成会の会員が減少していることが課題になっています。他の団体においても同様のことを聞いております。

東大阪市手をつなぐ育成会も例外ではありませんし、高齢化が進んでおり、本日の総会も70通近くの委任状が届いております。

会員さんご自身の身体の不調、ご主人の介護により、今また新型コロナウイルスが形を変えて流行しており、出席しにくい状況にあります。今日も「出席できなくなりました」と連絡がありました。

先日、ホームページを管理していただいているハンドレッドラボ（株）より、

「Google 社から おめでとうございます。過去28日間で Google の検索における東大阪市手をつなぐ育成会のホームページのサイトのクリック数が100を超えました。素晴らしいクリック数ではありませんか！と連絡が入りました。」と報告がありました。

知的障害のある人達のために活動している団体として、その活動（レクリエーション）（研修会）（しゃべりま専科）（相談事業）等の案内をホームページにアップし、機関紙「希い」はそれらの報告を主に発行し、それをホームページにアップすることを、その都度行なってきました。

これは令和5年度にハンドレッドラボ（株）を交え、プロジェクトチームをつくり、ホームページをリニューアルしてきた成果だと思えますし、東大阪市手をつなぐ育成会への関心の高さを示していると思えます。だからこそ、東大阪市手をつなぐ育成会の重要性を考えます。これから若い会員さんの加入を図ることと、総会のあり方も考えていく必要があるように思います。

私は今期で会長を辞任しますが、知的障害のある子を持つ親として、これからも東大阪市手をつなぐ育成会のため新会長を支えていきたいです。これからも皆様、ご協力をお願いいたします。

長い間、ありがとうございました。

ご 祝 辞

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会
理事長 小田 多佳子

すべての議題が、無事承認されたことよかったです。

会長交代の時期という大事な場面に臨席でき、世代交代に立ち会えてよかったです。

市長さん、お話が上手でビックリしました。

よくしたいと考えて育成会活動に取り組んでおられた坂本さん。

今、さらに いろんな新しいことにチャレンジされています。

バトンを受け継がれた瓜生さん。

生活に密着した発言を 大阪育成会では多く聞かれます。

今、考えていること、困っていることなどを わかりやすい言葉で、わかりやすく伝えておられますので、みなさんは 瓜生さんにたくさんの意見、考えを 伝えていってください。
顔がみえる距離の近い支部の人のつながりは 心強いものです。

大阪育成会では、公開セミナーの企画をしています。支援学校にセミナーのチラシを配布。WEBでの参加を通して育成会活動を知っていただく機会にと考えています。その中でうれしいことに参加者数が増えてきています。

今年度は、各地域での公開セミナーを5回計画しています。6月には「卒業後の進路」と題して東大阪市で開催します。50名定員の中、30名の申込があります。(5月29日現在)

悩みながらも私たちの生活に寄り添えるのは、私たち経験者。心と心が重なった 血の通いあえるのは 支部の力です。

出会いの場をこれからも作っていきたいと考えています。

ごあいさつ

東大阪市手をつなぐ育成会
会長 瓜生 みのり

令和7年度総会がきまして、坂本ヒロ子前会長から「東大阪市手をつなぐ育成会」のバトンを引き継ぎ、会長に就かせていただきます瓜生みのりでございます。

坂本前会長には20数年に亘って、東大阪市手をつなぐ親の会 から 東大阪市手をつなぐ育成会を支えていただきました。本当におつかれさまでした。その多大なる功績を考えますと、あとを受け継がせていただきます事の重責に身を律する思いであります。

今年度の東大阪市手をつなぐ育成会の「活動計画」にも挙げています「知的障害者への理解啓発」「市への要望活動」等々ですが、坂本会長時代に形作っていただきましたこの活動、知的障害のある家族を持つ家族にとって、本人の豊かな生活を守るためにはなくてはならない活動だと思っています。また、この間の私たちを取巻く 障害福祉施策・障害福祉サービス は、目まぐるしく画期的に改正、整備されてきました。今年度の総会での会員総数(127名5月27日現在)の報告にありましたように、会員の減少が顕著にみられました。市長や坂本さんのお話からも他団体も同様だと話されました。今、何に困って、何が必要で、どんな言葉掛けが要るのか、またインターネットからの情報だけで本当に本人の人権を、その人らしい生活を守ることが出来るのか。

日々の生活の中では机上の計画も大切ですが、会員の皆さまと膝を合わせた対話や関係性を大切に、今もこれからも心強い仲間です。皆さまとこの東大阪市手をつなぐ育成会の活動を発展していきたいと思っています。

本当に未熟者の私ですが、皆さまと共にこれからも 東大阪市手をつなぐ育成会の思いをつなげていければと思っています。どうか益々のご指導ご鞭撻、そしてご協力のほどよろしくお願い致します。

公開セミナー

<知的障がい児を育てる親のためのセミナー>

2025年6月23日

『中学校/高校/高等部を卒業したあとの **進路**』と題して セミナーが開かれました。

小田理事長の挨拶のあと、3つの分野に分けて 講師の方々に詳しく話していただきました。
コーディネーターの理事長からの 講師の方への質問を通して
話がふくらみ、より具体的な内容になりました。

(申込み 58名、オンライン 220名程の申込みがありました)

- 1、「中学部や高等部における進路」については、大阪府立支援学校について、支援学校卒業後の進路先について、支援学校高等部での進路指導等 について話されました。その中で卒業後の進路状況や進路指導スケジュール例、高等支援学校と支援学校高等部の違い等聴くことができました。
- 2、「卒業したあとの進路」については、障がい福祉サービスの説明として（サービス等の体系、サービス利用の流れ）、サービスの活動として（生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援A型・B型・就労定着支援、1日のスケジュール、サービスの日課の違い）、障がい福祉サービスの利用事例等 資料をもとに 「どんなことをしてくれるの？こんな方に向いています」と具体的に話してくださり、わが子をイメージしながら説明を聴くことができる内容でした。
- 3、「会社で働く」については、障害者就業・生活支援センターとは、障害者雇用に関すること、就労選択支援事業について、アセスメントのポイントから、また 東大阪市の取り組みについて話してくださいました。

一次の方々を講師に迎えてー

*府立支援学校中学部や高等部
における進路について

大阪府教育庁教育振興室

支援教育課

*卒業したあとの進路

社会福祉法人 大阪手を

つなぐ育成会 宇高 広志氏

*会社で働く

東大阪市障害者就業・生活支援

センターJ-WAT 奥田真氏

*コーディネーター

大阪手をつなぐ育成会理事長

小田 多佳子さん

講師の方々



パン・クッキー・さをりの
製品の販売



本人さんが支援を受けながらの販売です

今後の知的障がい児を育てる親のための公開セミナー

(2025年度はシリーズでお届けします)

9月(高槻市)(支援)うまく話せないわが子のために

10月(藤井寺市)(就労)はたらくこと

12月(門真市)(防災)障がい児とその家族だから

2月(和泉市)(暮らし)自立した暮らし

編集後記

今号は、令和7年度総会特集です。

野田市長より心強いお話をいただきました。
また、大阪手をつなぐ育成会より小田理事長を迎え、支部の存在の大切さも示唆していただきました。

7年度より坂本ヒロ子さんが会長を退かれ、新しく瓜生みのりさんが東大阪市手をつなぐ育成会会長に就任されました。坂本さんにおいては、障害のある子どもたちのために長きにわたり、尽力いただきました。受け継がれた瓜生さんのもと 育成会活動を通してみなさんと心と心をつないでいければいいですね。